

## 大阪府

事業所管：大阪府 環境農林水産部 流通対策室

地域事務局：株式会社パソナ農援隊

# 大阪・関西万博に向けて、 大阪産（もん）<sup>\*</sup>で府民を健康に！

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される

2025大阪・関西万博に向けて、大阪産（もん）に関する多種多様な関係者が連携し、健康に特化した新ビジネスを創出する。＊大阪産（もん）：大阪府で生産される農林水産物等



令和3年度は、大阪の特産である春菊を使ったふりかけ、いちごを使ったフルーツピネガーソース、機能性米を使ったシリアルを開発した。

### プラットフォームの形成

▶ 農林漁業者、加工事業者、流通・販売事業者、飲食店、大学・研究機関などが参画したプラットフォームを構築し、大阪産（もん）の認知・需要拡大と府民の健康向上への寄与を図る。

LFP パートナー数 | 15社・団体

2022.3 現在

### 主な取組内容

▶ NPO法人が中心となり、生産者、加工事業者が連携し、機能性関与成分等を活用した大阪産（もん）で大阪産（もん）の消費を喚起し、府民の健康に寄与する新商品を開発した。

▶ 50以上の事業者で、サブスクリプションによる農産物販売、加工を含む観光農業、農業系YouTuberなど府の革新的農業者の取り組みを共有、アイデアソンを開催し、新たな展開を検討した。

## 奈良県

事業所管：奈良県 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課

地域事務局：株式会社シンセニアン

# 他分野、異業種との連携により 主要産品である柿の持続可能な未来を描く

奈良県が有する豊かな自然や歴史・文化的背景のもとで育まれる、これまでにない「奈良の食」を創造し、消費者に向けて発信する。



高品質な県産柿に近畿大学のオリジナル酵母を合わせた独自の柿ワイン（果実酒）を開発した。ボトルのラベルデザインは近畿大学の学生によるデザインコンペで決定した。

### プラットフォームの形成

▶ 柿の生産者や流通・販売業者等のフードチェーンのみならず、大学・研究機関、消費者団体、報道関係者など多数の異業種からなるプラットフォームを構築し、県産柿の活用を推進した。

LFP パートナー数 | 15社・団体

2022.3 現在

### 主な取組内容

▶ 県の主要産品である柿を素材とし、消費者への新たな「奈良の食」体験の提案方法について検討した。その中で、柿の新たな食べ方や販売店・飲食店・メディアなど他業種が参画した県統一フェアの開催、介護食等の新たな加工品開発など、様々なビジネスアイデアが提案された。

▶ その中から、柿生産者と近畿大学・卸売業者が連携し、柿ワイン（果実酒）の開発に取り組んだ。